雜　錄　Miscellaneous

○雪岳山植物雜記（朴　萬奎）

雪岳山ハ朝鮮江原道ノ襄陽郡ト麟蹄郡ノ境界ニ聳エ、上晴峰ハ其ノ最高峰デアツテ海拔1708.9 m ノ標高ヲ有シ、表裏朝鮮ノ大分水嶺ヲナス太白山脈中ノ一番高イ山デアル。

同山ハ雪景ノ美ナルコトト雄壯ナルコトニヨリテ世ニ知ラレ、山中ノ名刹百潭寺ノ末寺神興寺附近ニハ昔日本海海賊ノ根據地デアツタ權金城趾モアルシ、其ノ北方約 80 km ノ地點ニハ山水ノ美麗ナルコトト植物ノ種類ノ豐富ナルコトデ有名ナ金剛山 (1638 m) ガアリ、南方ニハ五臺山 (1563 m) ガアリ、兩山ノ略ミ中央ニ位スルモノデアル。

第1圖　龍湖亭附近ノ植物景觀。たうしらべヲ主林トシテ、にほひねづこノ直立形ノモノト匍伏形ノモノモ混生ス（750m ノ所ニシテ同山ニ於ケルにほひねづこノ下限）。

同ジ太白山脈ノ中デモ雪岳山ト金剛山ハ母岩ガ花崗岩デアルカラ山容モ相似テキルシ、植物景觀並ビニ其ノ構成分子マデ共通ナルモノガ多イガ、五臺山ハ灰色花崗片麻岩ガ母岩トナツテ兩山トハ趣ヲ異ニシテキル故、此ノ三地域ノ所産分子ヲ比較研究スレバ仲々面白イモノガ出來ルト思ハレル。

同山ノ植物ニツイテ中井博士ハ既ニ朝鮮半島ノ植物區系上中部ニ屬シ、南北兩分子ノ混生地帶ナルコト、はひまつノ分布上ノ南限地ナルコト、伯耆國大山デ發見サレタだいせんきやらぼくガ自生スルコトヲ發表サレタ。筆者ハ昨夏金剛山ノ採集ヲスマセテ同山ニ赴キ、7月 30 日カラ 8月3日マデ5日間、中井教授ノ指摘サレタ事實ヲ實地ニ見學シ、尙植物景觀ニ接スル機ヲ得タ。タヾ一回ダケノ採集デアルカラ所產植物ニツイテ細論スルコトハ出來ナイガ、分布上注目スベキモノヲ要約スレバ

I.　北方分子ノ南限ト認メルベキモノハ

みやまいはでんだ (*Woodsia subcordata* TURCZ)、にほひねづこ (*Thuja koraiensis* NAKAI)、はひまつ (*Pinus pumila* REGEL)、たうかんば (*Betula chinensis* MAXIM.)、ねばりまんてま (*Silene koreana* KOM.)、てうせんしらたまさう (*Silene pauciflora* NAKAI)、はくさんいちげ (*Anemone narcissiflora* L.)、さじがらし (*Cardamine Koma-*

rovi NAKAI)、ひめさんせうばら (*Rosa koreana* KOM.)、うらぼしざくら (*Prunus Maackii* RUPR.)、だふりあふうろ (*Geranium davricum* DC.)、まんしううりはだかへで (*Acer tegmentosum* KOM.)、だいげきさいこ (*Bupleum euphorbioides* NAKAI)、こけもも (*Vaccinium Vitis-Idæa* L.)、えぞのくがいさう (*Veronica sibirica* L.)、まつばゆり (*Lilium cernuum* KOM.)。

II. 南方分子ノ北限ト認メルベキモノハ

いぬしで (*Carpinus Tschonoskii* MAXIM.)、しらき (*Excæcasia japonica* MÜLL.)、やまごぼう (*Phytolacea esculenta* HOUTT. 神興寺デ栽培)。

第2圖 はなぶささう (1700 m ノ灌木帶中ニ散生ス)

III. 金剛山トノ共通種

はなぶささう (*Hanabusaya asiatica* NAKAI.)、ほそばおほりんだう (*Gentiana Uchiyama* NAKAI) ひかげままこな (*Melampyrum latifolium* NAKAI) まるばれんげふ (*Forsythia ovata* NAKAI).

IV. 伯耆國大山ト共通種

だいせんきやらぼく (*Taxus cæspitosa* NAKAI.)。

V. 朝鮮半島ニ於ケル初發見ノモノ

みやましほがま (*Pedicularis apodochila* MAXIM.)。

以上ノヤウナモノガ最モ顯著ナル事實デアルガ、其他、尙あかしで、さんせう、えごのき (東草驛カラ神興寺ニ至ル途中ノ川ノ堤防ニハ數個所コノ純林ガアル) ノ如キ暖地性ノモノハ、更ニ北上シテ金剛山デ其ノ北限トナリ、たうしらべ、てうせんもみ、てうせんまつ、ノヤウナ寒地性ノ森林モヨク發達シテキル。

然シ分布上最モ興味アルノハだいせんきやらぼくト共ニ本州ノ高山分子ト共通ナルみやましほがまノ所在デアル。

寫眞撮影ニツイテハ昆蟲採集ノタメ同行サレタ畏友田中三夫氏ヲ煩ハシタ點ガ多イ。此處ニ厚ク謝シマス。

○おほえのころトさささびトノ學名ニツイテ (中井猛之進)

おほえのころノ學名ハ屢ゝ變更サレタ。其順序ヲ示スト次ノ通リ

1. *Panicum comosum* STEUDEL, Synopsis Plantarum Glumacearum pars I. Gramineæ, 417 (1855). {non *Panicum comosum* STEUDEL, l.c. 53 quæ est planta Philippinensis}.